

<学校教育目標> 自ら考え、主体的に判断し、行動する、心豊かで心身ともにたくましい子どもの育成

め の と



3月 弥生
卒業 号

長崎市立女の都小学校 学校だより

令和5年3月17日 文責 校長：松田伊知郎

<めざす児童像>

- ① あてを立ててすすんで学ぶ子
- ② そみをもってたくましく生きる子
- ③ もだちとみがきあう思いやりのある子

3月13日から一般の生活でのマスク着用が個人判断となりましたが、学校の教育活動では3月31日まではこれまでと同様の対応（卒業式等は特例有）となります。本校では地域や学校の実情に合わせた対応ということで、修了式や離任式を卒業式と同様の位置付けで、個々の健康観察に加え、「距離をとって密を避ける」「換気」「消毒」等を心掛け、マスク着脱のメリハリをつけながら、できる限りの対面で行うようにしています。特に、学年の最後、教職員との最後は、短時間で、「できる限り素顔で」行いたいと考えます。もちろん強制ではありませんが、御一考ください。

～ 令和5年度の学校における行事等について ～

県や市からは4月1日以降の対応についての連絡がありませんので、次年度の行事等での行動規制等については未定ですが、様々な行動規制は緩和の方向に動くと思われれます。それなら「この3年間で行わなかった行事等は全部復活する」「4年前のような内容で実施される」と考えられる方も居られると思います。最終決定は次年度に入ってから、新校長を含めた新体制の中で決定してお知らせすることになりますが、基本的な考え方だけはお示ししたいと思います。

端的に申せば「行事の全部復活」「4年前の内容で実施」は原則『NO』で、これまでも、これからも見直しを図ることになります。その視点は『教育課程の基準を示している学習指導要領の目的を達成するため』に「より効果的なよい方法であるか」「指導（時数等）に無理がないか」「年間でのバランスがとれているか」などです。留意すべきは、現行学習指導要領が令和2年4月から全面実施になっていて、現在の学習指導要領とコロナ禍の前の学習指導要領は違うということです。現行学習指導要領がこれまでと一番違うことは、これまでは過去の反省に立って「これがうまく育っていないので、それを育てるように」という考え方でしたが、現行は10年先の世の中を見通して「その社会の形成者となる今の小学生には、この力を付けておく必要がある」という未来志向の考え方になったことです。それが、通知表の観点でもある『生きて働く「知識・技能」の習得』『未知の状況にも対抗できる「思考力・判断力・表現力等」の育成』『学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養』です。それが「未来社会を切り拓くための資質・能力」と考えられ、一言で言えば、いろいろなことに自分で対応するための『主体性』を育てることが主眼になっていると言えます。つまり、「やらされる」のではなく「自分で目的意識をもって意欲的にやる」ことが重要視されますので、全教育活動がそんなスタイルに変容していくこととなります。指導を行う教員や家庭教育を行う保護者の心身に過度の負担がかかることは子供の健全な発育や教育に悪影響を与えることになりますので、その点にも留意して活動を考えていきたいと思ひます。

～ 卒業へのはなむけに ～

卒業に寄せて、卒業の葉に裏面の言葉を載せ、卒業式中の式辞（はなむけの言葉）では、卒業生に向けた言葉を中心にして思いを伝えました。

～ 校長式辞（卒業の葉 掲載分） ～

春の風が心地よい時節となりました。本日、長崎市立女の都小学校第47回卒業証書授与式を挙げるにあたり、皆様に一言御挨拶申し上げます。

この式は、小学校教育課程卒業の証を卒業生が受け取り、それを皆で祝うという学校最重要の式典です。また、卒業生が、これまで支えてもらった御家族や地域の皆様への感謝の念を表現する絶好の機会でもあります。本年度は、御家族や御来賓の皆様にも式場やサテライト室での御臨席をいただき、在校生代表の5年生も参加して開催いたします。希望に満ち溢れた卒業生と、それを祝福する皆様が集うことができたことを、大いに喜びたいと思います。

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。学校では新しい様式での生活や行事の改革が進み、クロムブックを使った学習も本格化しました。これまでにない活動やここ数年なかった活動が始まる中、皆さんはそのどれにも意欲的に取り組み、成果を挙げることができました。長崎市小学校体育大会ではバスケットボール競技に参加し、男女それぞれ決勝戦に進出して女子優勝、男子準優勝という素晴らしい成績を残しました。しかし、私が何より嬉しかったことは、自主的に競技に取り組む真剣な姿、メンバー同士で作戦を練っていくことで絆を深める姿などを大会までや大会中に見ることができたこと、そして大会を終えてもその姿が違った形で生かされ続けていることでした。重点目標だった「それぞれの笑顔 みんなでもっとにこにこ 女の都小」においても、学年としての様々な活動で実践したほか、朝の自主活動など自分の時間を使ってまでもみんなの笑顔のための活動に取り組んでくれました。本当にありがとうございました。

御家族の皆様、お子様の御卒業おめでとうございます。また、これまで本校教育活動への御理解と御協力をいただき、育友会としての御支援もいただいたことに深く感謝申し上げます。卒業する子どもたちは、これから「なりたい自分」の次のステップに向けて歩み続けていきます。順風満帆なことばかりではないかもしれませんが、一途に、時としてやり方や目標を変えながら、頑張っていくことと思います。どんな時もお子様の思いを受けとめる一番の存在であってください。

お別れの時が近づいてきました。寂しいのですが、いつものように笑顔で元気に送り出したいと思います。女の都小学校第47回卒業生の皆さん、あなたたちの輝く未来に、「いってらっしゃい。」

式中での式辞では、卒業生の門出に向けて「しなやかに生きる」という言葉で『「やり遂げる強さ」に別の考えを受け入れる「柔らかさ」を加えて挑戦を続けてほしい』という話をしました。「なりたい自分」に向かっている時ほど至福の時はないものです。真摯に物事に向き合い、より良い方法を選択して挑戦を続けてほしいと思います。これは卒業生だけでなく、全ての人たちに伝えたいと思います。

～ 春休みのクロムブック持ち帰りについて ～

春休みは、学年が終了した安堵感に春の陽気が加わるのか、気分的にファツとなり、事故や事件に遭遇することが多いそうです。次学年のスタートをいい状態で迎えることができるように御留意ください。

春休みの学習に関しては現担任が指導を行います。長崎市立小学校はクロムブックの持ち帰りを基本とすることになり、その学習を加えることになりました。「eライブラリ」（契約により3月31日まで）と先日御紹介した「キュピナ」が中心になりますが、これ以外の指示がある場合も考えられますので、学年のおたより等でご確認ください。

学習用具としてずいぶん定着し、子供たちも操作に慣れてきたクロムブックですが、他校でも誤った使用（学習に関係のないサイトへの接続、誹謗中傷等の書き込み、遅い時間の使用 など）の報告があり、その危険性が学校外にまで広がった例もあります。子供たちにとってこのような機器の使用は日常となる世ですので、正しく安全な使用についての御家庭での御指導を重ねてお願いいたします。